



平成28年度 豊橋市市民協働推進補助金 事業報告会

平成29年6月23日（金）9時30分～
豊橋市役所 市民ギャラリー

目次

補助金の種類	団体	事業	頁
つつじ	福岡校区防災会連絡協議会	校区防災イベント及び自主防災会ネットワークの強化	1
つつじ	ママの働き方応援隊 豊橋学級	「赤ちゃん先生」写真展	2
つつじ	汐川干潟を保全する会	汐川干潟の自然環境保全	3
つつじ	とよはしちょいボラの会	ちょっとしたボランティアで暮しやすいまちをつくろう	4
つつじ	前芝カフェ運営委員会	前芝カフェ	6
つつじ	大清水ささえあいの会	日常における支え合い事業	7
つつじ	だいだらぼっちの会	石巻町神郷区の新池周りの環境改善活動	8
つつじ	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」	9
くすのき	岩田校区支え合い活動「のん・ほい」	岩田校区支え合い活動「のん・ほい」	10
くすのき	金田住宅ふれあいサロン世話人会	金田住宅ふれあいサロン	12
くすのき	みなと塾	前芝 川灯ろうまつり	13
くすのき	特定非営利活動法人 たすけあい三河	第6回 市民後見フォーラム	15
くすのき	ひまわりの会	ひまわりの会(ひきこもり勉強会)	17
くすのき	特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター	第7回 とよはし音楽祭	18
くすのき	むつみね台自治会	子供会無き自治会 町で子供達を育てる	19

・つつじ補助金 設立後5年未満 補助率10/10 上限5万円

・くすのき補助金 設立後2年以上 1回目 補助率2/3

2回目 補助率1/2

3回目 補助率1/3 3回とも上限30万円

(平成24年度以前に1回目の交付を受けた事業は3回とも補助率1/2)



事業名	校区防災イベント 及び 自主防災会ネットワークの強化
団体名	福岡校区防災会連絡協議会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p style="text-align: right;">場所:福岡校区市民館</p> <p>H28.04.27(会議)25名 H28.05.20(会議・講演 豊橋市防災危機管理課)25名 H28.06.17(会議)20名 H28.07.15(会議)20名 H28.07.23(福岡フェスティバル・防災倉庫見学)40名 H28.07.30(校区防災訓練HUG)70名 H28.08.19(会議)20名 H28.08.27(校区防災訓練無線)10名 H28.09.16(会議)20名 H28.10.21(会議)20名 H28.11.18(会議)20名 H28.11.27(校区防災イベント)90名 場所:南陽地区市民館</p> <p>総事業費：96,855円 (内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時の情報伝達手段として、制限が想定される電話網に依存することのない無線による通信ネットワークの有効を確認できた。 ・具体的には、3台の一般(免許不要)無線機を借りて市民館を基点に随所から会話を試み、交信可能を確かめた。 ・校区内13自治会協同で、校区防災イベント等を共催し、校区内13自治会の自主防災会相互の交流を実施できた。 <p>これら活動により、無線による情報ネットワークが、段丘地で市街地である福岡校区でも、発災時の迅速な被災状況の把握に有効であることがわかった。</p> <p>さらに、福岡校区13自治会で互助の体制を構築していることで、いち早く、被災状況に応じた救援・救護の対応を始めることができるようになったと考える。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な被災状況を想定し、校区内13自治会間で互助の可能性を検討し、準備を進めて、減災に取り組む。 ・具体的には、古くからの市街地である福岡校区には、古い家屋が密集した地区が多く、家屋の倒壊・延焼が危惧される。 ・初期消火や、要救護者の救助体制構築を進める。



事業名	「赤ちゃん先生」写真展
団体名	ママの働き方応援隊 豊橋学級

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>孤独死や虐待が後を絶たない今の社会は孤立無援にあるといえる。孤立を防ぎ子育ての中の母親の働く場を増やし、日本経済の発展に寄与する。 孤立無援の根底にある無援社会を赤ちゃん先生クラスを通して解消する。 赤ちゃん先生クラスは、学生は命の大切さを気づく場、利用者には癒し効果を得られる場、母親には子育ての喜びに気づく場、赤ちゃんには、地域とのつながりの場となる。 そのことを多くの方々に知っていただく為に、「赤ちゃん先生写真展」を開催した。</p> <p>総事業費：44,006円 (内補助金：44,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>企業を含め多くの人とつながりました。 写真をご覧いただいた方からの感想で「産まれたばかりの赤ちゃんの写真、どれも素敵でもう1人欲しくなりました」とご意見をいただきました。癒し効果だけでなく、少子化対策としてもお役に立てそうです。また、赤ちゃんだけでなく「高校生の笑顔がとてもいい」との感想が多く寄せられました。被写体の笑顔を見た方が笑顔になる、笑顔の連鎖効果もあったと思います。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>こうした活動があることを知っていただき賛同を得ることにより、活動メンバーを増やす、開催先とつながる、ご協賛いただける企業を募り、活動が拡大することができます。誰もが命の大切さを感じられる機会をこれからも増やしたいと思います。</p>



事業名	汐川干潟の自然環境保全
団体名	汐川干潟を保全する会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>①平成28年6月8日 章南中干潟保全実践活動(新々田海岸) 干潟の生息生物の定点観察調査の支援(章南中2年生、会員2名)</p> <p>②平成28年6月19日 干潟生物観察会(新々田海岸) 干潟の生息生物の観察・調査(会員及び一般60名)</p> <p>③平成28年7月17日 市民館講座「汐川干潟で遊ぶ・学ぶ」(新々田海岸) 講座参加者の干潟観察支援・解説(受講者35名、会員3名)</p> <p>④平成28年9月24日 杉山グリーンウォーク(新々田堤防上) 野鳥観察支援・説明(一般150名、会員4名)</p> <p>⑤平成28年9月30日 章南中干潟保全実践活動(新々田海岸) 干潟生物調査活動の支援(章南中全生徒、会員4名)</p> <p>⑥平成28年11月27日 汐川干潟クリーンアップ大作戦(福住新田海岸) 530運動環境協議会の530運動に参加(一般150名、会員30名)</p> <p>⑦平成28年11月30日 章南中干潟観鳥会(天津新田北側堤防) 干潟の野鳥観察支援(章南中1年生、会員3名)</p> <p>⑧平成29年3月5日 干潟保全セミナー(杉山地区市民館) 干潟の現況と保全調査報告等(会員25名)</p> <p>総事業費：42,695円 内補助金：40,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>干潟生物の調査や観察会等の実施や支援などを通じて干潟環境の保全活動に取り組むことにより、干潟に対する地域住民の関心をより一層喚起し、地域の宝として貴重な自然を後世に引き継ぐ一助になったと思われる。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>干潟の保全にはその後背地の環境も大切であり、そこに住む地域住民とともに汐川干潟の自然環境と生物多様性を保全していく活動が必要となる。そのためには日々の生活に根ざした地道な保全活動が必要であり、引き続き啓発活動に取り組みたい。</p>



事業名	ちょっとしたボランティアで暮らしやすいまちをつくろう
団体名	とよはしちよいボラの会

項 目	内 容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>① 年間を通し、豊橋市内全域を対象に、暮らしの中で、自分ではできないちょっとした困り事を抱えた人から電話による依頼を受け、市内中学校区毎に配置されたボランティア会員の中で近くのボランティア会員が出向き、その困り事を援助、解決する行動を行った。 1年間の活動件数は、129件でした。主な活動内容は、庭などの草取り、垣根、庭木の枝払い、電球、蛍光管の取替え、家財道具等の移動、トイレ、ベランダ等種々の清掃でした。</p> <p>② ボランティア会員の交流会、講習会を行った。 ア、新加入ボランティア会員講習会 5月24日(火)、28日(土) 新加入ボランティア11名参加。 イ、ボランティア全体交流集会(豊橋生協会館)9月10日(土) ボランティア会員他56名参加。 ウ、年度末分散交流会(4会場)2月21日(火)、25日(土)、3月3日(金)、4日(土) 62名参加。</p> <p>③ ちよいボラの会のパンフレットを作成し、宣伝活動を行った。 当初、重点小中学校区を設定し、宣伝活動を行う予定でしたが、ほとんどできなかった。専ら、地域包括支援センターへの宣伝、いきいきフェスタ、まちの支え合いづくりフェア等への参加、宣伝とボランティア会員の口コミ宣伝活動に終わってしまった。 平成28年6月15日号広報とよはしの「わくわく活動ひろば」に会の掲載記事を掲載した。</p> <p>総事業費：75,534円(内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>平成28年度の活動実績目標を100件(平成27年度は27件)としましたが、「広報とよはし6月15日号」の掲載によって「ちよいボラの会」の活動が一気に豊橋市民に知られるようになり、お陰で依頼件数が急増し、目標をクリア、129件の依頼を処理することができました。そして、それぞれの依頼者の方から、たくさんの感謝の言葉をいただくことができました。まだまだ不十分ですが、暮らしやすいまちづくりに向け、わずかではありますが前進できたのではないかと思います。</p>

<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>① 暮らしやすいまちづくりを前進させるためには、ちょいボラの会の宣伝活動を強化し、依頼件数を増やしていく必要があります。</p> <p>依頼実績を見ると、地域ごとの依頼件数にバラつきがあるので、今後、人口の割に依頼件数の少ない校区などを重点にその地域の老人クラブや民生委員等を通して宣伝活動を行う必要があると思います。そして、引き続き、地域包括支援センターや、ボランティア会員自身の口コミによる地道な宣伝活動も積極的に進めて行きたいと考えています。</p> <p>② 組織強化の課題としては、実行組織として、まだ連絡員のいない中学校区や、1人の連絡員が、複数の校区を担当しているケースもあるので、連絡員になってもらえる人材の発掘、補強も図って行きたいと考えています。</p>
---------------------------------------	--



事業名	前芝カフェ
団体名	前芝カフェ運営委員会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. お茶、コーヒー、お菓子を食べながらのおしゃべり 2. 介護士による健康体操。豊橋弁ラジオ体操 3. 口の体操、リュウマチ予防体操、唾液の出るマッサージ。 4. 野菜づくりと草取り 5. 季節の行事(クリスマスカード、ミニ門松、干支置物、節分豆まき、ひな祭り) 6. マジック、牛乳パック椅子づくり、折り紙、脳トレ、エコクラフト手芸、カラオケ、DVD鑑賞、俵づくり、ジグソーパズル、かるた、絵手紙などを実施 7. 利用者出席名簿を付け、誰が利用したか、運営委員の当番は誰か履歴を残している。 8. 活動日誌を付けている。特に何を食べたか、何を飲んだか記録を残している。 9. 寄付品一覧表を作成している。誰が何を寄付したか、全員に分かるようにしている。 10. 活動期間内で運営委員会を5回実施した。 <p>総事業費：62,057円（内補助金：50,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 寄付備品がたくさん提供された(雑巾、電気掃除機、長机、カラオケセット、時計、座布団、置物など) 2. 空き家提供者に感謝の気持ちを伝えるために、庭の畑で野菜を育て、皆が進んで草取りするようになった。 3. 取材が来た(ティーズ、アクティ、毎日新聞) 4. お互いさまのまちづくりシンポジウムのパネラー出席 5. 欠席者がいるとお互いに心配するようになった。 6. 地域住民から活動の認知と信頼をいただくようになった。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上下水道代の負担が大きく、活動途中で解約せざるを得なくなった。 2. 今後は地域とのかかわりを密にして病院、接骨院、お寺、佃煮屋、美容院、保育園などから、お年寄りのためになるお話をさせていただく機会をつくりたい。 3. この事業をモデルに前芝町西地区、梅敷町、日色野町にも展開する。 4. 自治会、民生委員、介護相談員、シニアクラブ、地域包括センターみのり、グループホーム喜寿苑、長寿介護課と相談しながら全体のスキルアップと事業の質を上げていく。



事業名	日常における支え合い事業
団体名	大清水ささえあいの会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>日常生活のちょっとした困りごとを、地域の中でお互いに支え合いながら、安心して暮らせる住みよいまちづくりを推進するため「ささえあい活動」を行っている。</p> <p>【ささえあい活動】 利用者からの相談・依頼をコーディネーターが専用電話で受け、ボランティアに指示して次の活動を行った。 草むしり 7件 / 簡単な枝切り 5件 / 掃除 2件 電灯器具の交換 2件 / ガラス拭き 2件 / 見守り1件 トタン張り補強 1件 / 買い物付き添い 1件 プリンターインク取り換え 1件 / 自動車車庫入れ 1件 ガラス戸車交換 1件 合計 24件 (依頼件数…20件)</p> <p>総事業費：106,186円 (内補助金：50,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>ささえあいの活動の中で老人会及び民生委員さん一般の人とそれぞれの立場からの困っていること等の意見を聞くことができた。また、横のつながりができたことで情報共有が進んだ。</p> <p>作業内容を提示しボランティアを募集したところ、64名に応募いただけた。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>○継続して活動を実施していく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題…資金の確保 ・ハードな支援作業に対応するため、定年を向かえた比較的若い方に呼びかけをしていく。 ・ささえあい活動を広く知ってもらうために、利用者を増やす。包括支援センターや老人会、民生委員を通して口聞き紹介をしてもらう。また、必要に応じて個別訪問の実施も考えている。



事業名	石巻町神郷区の新池周りの環境改善活動
団体名	だいだらぼっちの会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>新池周りは雑草・雑木が生い茂り、不法投棄が後を絶たない。そこで、第1期工事として新池の堤防と北道路の法面の草刈り・雑木・竹（ハチク）の伐採を徹底的に実施した。時には参加者からのパワーショベル・トラクターなどの重機械の応援を得てスムーズに作業が進行した。また、飲料水の差し入れ、近所の主婦からの温かいコーヒーの接待は有難い精神的な支えであった。</p> <p>・作業実施結果</p> <p>1) H28.10.22 am 10名 2) H28.11.12 am 7名 3) H28.12.10 am 8名 4) H29.1.14 am 9名 5) H29.1.28 am 11名 6) H29.2.11 am 10名 7) H29.2.25 am 10名 8) H29.3.11 am 9名 9) H29.3.11 pm 8名 10) H29.3.18 am 5名 11) H29.3.18 pm 5名 12) H29.3.25 am 8名 13) H29.3.25 pm 7名 延107名</p> <p>総事業費： 55,635 円 (内補助金： 50,000 円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>昔の新池の法面が一望でき、不法投棄もなく、不法な釣り人の姿も見かけなくなった。</p> <p>自治会の総会での会長からのねぎらいの挨拶、寺の春彼岸法要でのだいだらぼっちの会の紹介等で自治会員の関心が広がり、前向きな意見が寄せられるようになった。</p> <p>また、広報を見られた地域外の人々からも「詳細を教えて」「がんばって」「ボランティアとして参加したいが」など嬉しい電話・意見をいただいた。</p> <p>石碑が現れ、昔の道の再確認と古老との話が盛り上がりつつある。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>昔の不法投棄物が大量に発見されたので、自治会とその処理方法を検討している。</p> <p>第2期工事は、南道路の法面の森林の孟宗竹と雑木の伐採である。これは全てが個人の持ち山であり、全員にはがきで伐採の了解をとり、説明会を現地で開き、作業への協力をお願いして行く。</p> <p>ここは、風致地区に該当し関係部署の許可を得ている。</p> <p>これと並行して浜川地区から新池への道路の南側山林の木の枝が道路にはみ出し、通行に支障をきたしているので市と県の担当部署にお願いして伐採事業を計画する。</p>



事業名	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」
団体名	天伯団地「支え合い活動 ひだまりの会」

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>(1)居場所づくり ①茶話会 9/10(38名)、9/23(36名)、10/8(39名)10/22(45名)、11/12(22名)、11/25(25名)、12/11(13名)、12/24(23名)、1/14(25名)、1/28(25名)、2/10(20名)、2/24(25名)、3/11(12名)、3/24(19名) 計14回延人員367人 *牛乳パックイスづくり、ちらしのゴミ箒づくり、囲碁・将棋・麻雀、おしゃべり等 ②手芸教室 12/9(8人)、1/13(9人)、3/10(7人) 計3回延人員24人 *安否確認旗の準備、お手玉づくり、マラカスづくり、干支づくり ③カラオケ教室 12/16(15人)、1/20(11人)、2/17(11人)、3/17(9人) 計4回延人員46人 *DVD各自持参</p> <p>(2)お互いさま活動 庭木の勢定1件、通院の付き添い1件、見守り声かけ1件、買い物1件、包丁等刃物砥3件</p> <p>総事業費： 84,624 円 (内補助金： 50,000 円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 転居後、いつの間にか40年経過していた団地で、横の連絡もなく過ぎてきたが、「ひだまりの会」結成後、公民館を中心にコミュニティ活動が活況化された。 2. 団地内がにわかに明るく、元気なお年寄りが目立つようになった。 3. 挨拶運動がおこり、お年寄りも子供も元気よく身振り、手ぶりで挨拶している光景もあった。 4. 有事の際の危機意識が生まれ、自分のことをどう守り人に迷惑しないで済むためにどうしたらよいかいつの間にか話し合うようになっていた。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 半年が経過した。これから本格的活動に入りたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・茶話会での参加呼びかけは、徹底した呼びかけを行う、(自宅に引きこもりの高齢者への呼びかけを重視し進めたい。 ・カラオケ教室、手芸教室だけでなくメニューにあげたものは、一歩ずつ前に進める。 2. 安否確認旗の製作は、極力急ぎたい。有事の際の人の命を守るための訓練を繰り返し重ねる努力が大切と考えている、 3. H29年度では、団地内の三公園の美化活動に取り組みたい。ひだまりの会が中心となり、高齢者のボランティア活動として作業をすすめたい。 4. お互いさま活動は、定着するためにはもう少し時間がかかる。どうしても遠慮しがちのため、日常的な訪問活動を徹底したい。



事業名	岩田校区支え合い活動「のん・ほい」
団体名	岩田校区支え合い活動「のん・ほい」

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度支え合い活動状況 受付件数48件[内リピーター25件](前年比+13件) 実施件数43件(前年比+25件) 買物4件、掃除2件、簡単な草むしり8件、簡単な庭木の枝切り11件、ゴミ出し8件、電球の交換3件、小さな家具の移動2件、代筆3件、その他10件 ●その他の活動状況 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター会 毎月1回実施 岩田校区市民館 ・ボランティア交流会 平成28年9月24日(土) 岩田校区市民館 参加者20名 ・周知活動 各自治会及び老人クラブを通じて全世帯に活動チラシ配布 校区行事において活動チラシ配布 自治会等の会議において周知活動 団体名入りベストを作成し活動時に着用 ・市主催の「支え合いフェア」への参加 平成29年3月25日(土)子ども未来館 ・校区防災訓練炊き出しにボランティアが参加 平成28年12月4日(日)岩田小学校 <p>総事業費：148,725円(内補助金：86,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等の協力により積極的に周知活動を行った結果、昨年より実施件数が増えた。 ・名入りベストを着用して活動時や様々な行事に参加したことにより知名度アップにつながった。 ・市や校区主催の行事に参加したことで、ボランティアの活動を広げることができた。 ・岩田校区の若い飲食店経営者の催しや支え合いフェアに参加して、若い世代の人にもチラシ等を配付して支え活動のPRができた。 ・市作成の情報誌アクティや支え合い活動ガイドブック等で広く市民へ支え合い活動のPRができた。

<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 活動時や様々な行事に参加する時に“名入りベスト”を着用することで依頼者の信頼を得るとともに地域への周知活動も行う。 • 地域の人材を発掘し、ボランティアメンバーを増やすことで、多様な依頼や緊急な内容にも対応ができる体制を整えていく。 • 運営の構成メンバーには、様々な地域活動に従事したり、行政との繋がりを持つ人が多く、それぞれの分野でのノウハウを持っているので、お互いに情報交換し、支援を要する人に細かく手を差し伸べることができるよう活動を積み重ねていく。 • 依頼内容は様々で対応に迷うこともあるが、活動を積み重ねることにより会としてどこまでできるか、また行なうべきか整理していく。
--	--



事業名	金田住宅ふれあいサロン
団体名	金田住宅ふれあいサロン世話人会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>①月に一度（第3日曜日）ふれあいサロン開催 年12回 参加者総数 498名 + 石巻小学校6年生 54名 【内容】 通常例会…バトン体操、なつかしい歌、民謡踊り、参加者紹介 誕生日お祝い、ビンゴゲーム 等</p> <p>特別例会…4月 屋外例会（のんほいパーク） 7月 消費生活出前講座（漫談） 9月 自治会と共催の敬老会</p> <p>②月に一度（第1日曜日）ミニサロン開催 年12回 参加者総数 238名 + 石巻小学校6年生 20名 【内容】 認知症予防のための脳トレゲーム 健康体操 10月は自治会主催の避難訓練に参加</p> <p>総事業費：229,850円（内補助金：114,000円）</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>サロンを立ち上げて4年半が過ぎ、参加者に、ただ受け身ではなく、積極的に生きようとする姿勢がみえてきたと思います。 (例：サロン終了後もすぐに解散せず、手芸やカラオケ、雑談などを楽しんだり、自治会の行事に進んで参加したり、小学生と手紙のやり取りをしたり等々。) 参加者から「人が大勢集まることってこんなにも楽しいことだったんだね」という声が寄せられることが、世話人一同の大きな喜びです。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・残念なことに、去年は一人の70歳代の男性の孤独死を防ぐことができませんでした。今後は男性の参加者を増やす工夫をします。 ・昨年愛知大学の学生から、「障害者生活介護事業所 喫茶 “奏楽”との連携を図れないか」との提案がありました。そこでミニサロンや、世話人会の会合を奏楽で開いたり、皆勤賞、精勤賞の商品として奏楽のコーヒーチケットを33人に配ったり、誕生月のお祝いのケーキを毎月奏楽で作ってもらうことにしました。 <p>月に2度のサロン開催日だけでなく、いつでも立ち寄ることのできる居場所として、奏楽を活用するよう住人に呼びかけていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで3回市民協働推進補助金をいただき、年を追うごとに内容を充実させることができ、自治会との連携も強まって、今後自立して活動続ける基礎ができました。これからも「健康寿命を延ばそう」「みんなで金田住宅全体を見守ろう」の合言葉のもと、活動を続けていきます。



事業名	前芝 川灯ろうまつり
団体名	みなと塾

項 目	内 容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>昨年度に続き2年目。青年団の盆踊りをにぎやかにバックアップするつもりでいる中、青年団が直前に盆踊りを8月12日、13日から13日、14日にと日程の変更を連絡してきたのには困惑した。結果12日、13日、14日の3日間、午後7時から午後9時までとした。</p> <p>前芝保育園は昨年同様全園児が、前芝小学校は昨年は高学年だけであったが、今年は1年から6年まで全校児童が参加。絵手紙教室のメンバーには昨年の灯ろうプラス前芝海岸の生きものを描いた灯ろうも作ってもらえた。前芝カフェも参加。ただ、一般で昨年灯ろうを出してくれた方は全員出してもらえと思っていたが、参加率が約60%となったことは予想外だった。</p> <p>盆踊り会場の前芝公園へ100基、来年用の試しに対岸の堤防へ75基など、あわせて740基並べることができた。消防団も灯ろうを追加してくれ、その上3日間警護もしていただいた。また、JA豊橋女性部前芝支部の方もゲームでにぎやかに盛り上げてくれ、ボランティアも40人近い方が応援してくれた。</p> <p>総事業費:419,429円 (内補助金:205,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>参加者が一同に集まることでコミュニケーションを図ることができ、灯ろうを手作りすることにより、マイ灯ろうとして参加意識を高めてもらうことができた。</p> <p>3日目途中から雨にあい、集会所下へ灯ろう全部を引き揚げたが、ほとんどの方が回収に向いてくれ家へ持ち帰ってもらうことができた。堤防だけでなく盆踊り会場へも灯ろうを並べ、盆踊り会場と灯ろうまつり会場とのスタンプラリー方式も取り入れ、また盆踊り会場でJA女性部の方がゲームをしてくれ、にぎやかにできた。また来年は対岸の加藤新田側堤防へも並べる予定であり、試しに75基並べてみたが、一段と風情が増すと思われた。ただ、青年団が急きょ盆踊りの日程変更したことで、3日間としたことにより、見物される方が分散されただろうということと、ボランティアの負担が増し、経費面にも多少の影響が出た。</p>

<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>直前に盆踊りの日程変更をしなければならないほどメンバーの少ない青年団なので、よりバックアップが必要になる。スタンプラリー方式を続け、灯ろうまつりの堤防と、盆踊りの公園がうまくつながるように人の流れがスムーズになるようにしたい。</p> <p>保育園、小学校、絵手紙教室、JA女性部の協力もあるので、今後は子ども会などにも参加の呼びかけをし、また、本体の灯ろうまつりの参加者も増やし、対岸の加藤新田側堤防へも灯ろうを並べ、本格的に地域の連帯感を高めるようにしていきたい。</p> <p>今までは、くすのき補助金があったので助かったが、今後運営にあたっての経費をどのように調達するか、参加者がどの程度まで負担してもらえるのか、自治会も理解はしてくれているが、盆踊りと灯ろうまつりを実施する意義を地域の方がどのように理解し受け入れてくれるかがポイントである。</p>
---------------------------------------	---



事業名	第6回 市民後見フォーラム
団体名	特定非営利活動法人 たすけあい三河

項 目	内 容
<p>事業の概要 (取組みの内容)</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>日時 2016年10月1日(土) 10:00~17:00 会場 豊橋市民センター(松葉町カリオンビル) テーマ「住み慣れた我が家で地域ですっと暮らし続けたい!」 参加者数76名(有料参加者21名・無料参加者55名)</p> <p>私たちの生活を支えるサービスには、国県市町村が行う行政サービス(公助)と行政と市民が協働で行うサービス(共助)があります。私たちNPO法人の活動は共助をめざします。人口減による働く担い手が減少し、超高齢化社会を迎える現在、税金の負担の増大を望むのか。行政に頼るばかりでなく、市民が自ら地域の問題に立ち上がり解決の道を歩むのか。私たちは、市民が自立し、行政とは横に広がるネットワークを組み活動を広げていく道を選択しました。「市民による市民のための成年後見」の実現をめざして…2013年6月には認知症高齢者全国で462万人となりました。豊橋市で約1万人、東三河全体で約2万人の方々が後見を必要としています。さらに緊急を要する方が2割 4000万人存在します。今こそ私たちは安心安全な東三河の実現を生活からまちづくりまで市民後見フォーラムを通してみんなで考えてみたい。</p> <p>【市民後見フォーラム】</p> <p>第1部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域報告「医療介護地域包括ケアで見えてくる地域社会の未来」 NPOたすけあい三河 代表 加藤政実 ・基調講演Ⅰ「認知症対策と障害者支援としての家族信託活用法を学ぶ」 —成年後見制度か家族信託利用かの選択はあなた自身が決めて下さい はさま司法書士事務所 司法書士 森由里子氏 ・基調講演Ⅱ「最後まで自分らしく生きる暮らし安心サポートのすすめ」 —見守り、身元保証、ブリーフケア、お墓、お葬式、相続 一般社団法人市民福祉支援協議会 理事長 廣川隆一氏 ・基調講演Ⅲ「知っていますか! 公証役場はこんなことができます」 —任意後見、遺言、死後事務委任など公証役場で作ります 愛知県公証役場 <p>第2部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション 「住み慣れた我が家で地域ですっと暮らし続けたい!」 プレゼンター全員参加による討議 上記の他午前中は、司法書士等による個別相談及び入門講座「もっと身近に成年後見」を開催した。 <p>総事業費：396,715円(内補助金：125,000円)</p>

<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>成年後見制度を始め、認知症や障害に関わる地域包括ケア、家族信託等について、専門的な情報を学ぶ機会を提供できた。</p> <p>切実な問題を抱える参加者が、それぞれの問題に対する理解を深めることができ、今後の解決に役立てられることと信じます。</p> <p>来場される方々はみなさん、真剣に取り組んでいらっしゃる方ばかりですが、このように集まって意見交換する中で同じ思いを持つ仲間が他にもいることに安心感を持たれたのではないのでしょうか。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>参加者がそれぞれケースを抱えており、悩みを相談したり、検討したり、情報交換や共有する機会が欲しいというニーズが多かった。</p> <p>本フォーラムも6回目となり当法人の取り組みとしてかなり定着してきた感がある。今後もさらに踏み込んだケースに対応したり、意見交換したりできるようなフォーラムを開催していきたい。</p>



事業名	ひまわりの会（ひきこもり勉強会）
団体名	ひまわりの会

項目	内容
<p>事業の概要 （取組みの内容）</p> <p>※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>■家族の会 ひきこもりの子供を持って悩む家族同士の集いで、お互いの情報交換や講師を招きアドバイスをいただきながら学びました。</p> <p>目的：当事者の社会参加に向けて親自身も視野を広め、学び、心豊かに交流を深め、当事者の将来を親としてサポートしていく 相談役：東三河セーフティネット金田文子先生（心理カウンセラー） 日時：毎月第4木曜日 午後1時30分～5時 場所：保健所・保健センター 第2会議室</p> <p>■秋の講演会 講師：木之下隆夫氏（臨床心理士） 日時：10月27日（木）午後1時30分～ 場所：保健所・保健センター 第2会議室 テーマ：「ひきこもりとの向き合い方」 参加者：30名</p> <p>総事業費：140,966円（内補助金：65,000円）</p>
<p>事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）</p>	<p>補助金をいただき広報やチラシ等でひまわりの会の講演参加を市民に呼びかけた結果、30名の参加者がありました。その内何名かは、ひまわりの会員になり共に活動するようになりました。当事者の参加も増え、セーフティネットや事業所につなげる事が出来ました。</p>
<p>今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）</p>	<p>今の活動を継続しながら、保健所ネットワーク（セーフティネット・オレンジプラザ）との協働活動をします。チラシ等で会員を増やし、ひきこもりの人の自立に向けて取り組みます。</p>



事業名	第7回 とよはし音楽祭
団体名	特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>日時 2017年2月4日(土) 12:00開場 13:00開演 会場 豊橋市民文化会館(豊橋市向山大池町20-1)大ホール 参加者318名</p> <p>[とよはし音楽祭の目的] こころの病を持つ人々が、家に引きこもり、病院の入退院を繰り返している現状がある。そのことを多くの市民に知ってほしい。そして、この地域には様々な人たちが注んでいることを知ることで、明るく住みやすい地域になれる。また、音楽を通じて、こころの病の方々のメッセージに触れ、障がいがある人とない人には何ら変わらないことを理解する場を作ることで、共生社会の一步につなげていきたい。</p> <p>[とよはし音楽祭の実施] 第一部のコンペティションは、全国からエントリーされた48組からノミネートされた12組が、全部門、作曲部門、作詞部門に分かれ、それぞれのメッセージを音楽にのせ、披露。その中から、グランプリ、金賞、銀賞、銅賞など8組が受賞。グランプリは石川県の方、金賞は京都府の方、銀賞は静岡県の方、銅賞は長崎県の方と全国的な広がりを見せた。 第二部のエキシビションは、愛知県立豊丘高校の和太鼓や活躍の場をアジアに広げているハーモニストの柴田晶子さん、名古屋のNPO法人ポパイさんの演奏が会場を沸かした。</p> <p>総事業費：804,926円(内補助金：300,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<p>出演者全員が精神障がい者であり、コンペティション形式のこの音楽祭を通じて、市民がその表現の巧みさや能力の高さに触れることで、精神障がい者を理解し、仲間として受け入れ、偏見をなくし共生できることを期待できると思う。</p>
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<p>今後も継続できるように、集客力を高め、全国的にこの「とよはし音楽祭」が広まり、定着し、共生社会を踏み出す一歩となることで、豊橋市の街づくり、地域につながるよう努めたい。</p>



事業名	子供会無き自治会 町で子供達を育てる
団体名	むつみね台自治会

項目	内容
<p>事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。</p>	<p>豊橋市表浜の地引綱や、日本古来から伝わる伝統文化を中心に町内の子供たちを対象に体験イベントを企画、実施しました。</p> <p>①西七根町表浜海岸での地引綱体験 6月5日(日)160名の参加申し込みがありましたが、海況の悪化により残念ながら中止となりました。</p> <p>②夏祭り子供屋台店員体験 8月20日(日)24名の子供さんに納涼祭での子供屋台ブースにて店員さんとして職業体験をしてもらった。</p> <p>③夏休み子供工作教室 8月28日(日)73名の子供さんが参加し、竹細工水鉄砲や和紙うちわ、紙粘土で作る風鈴などを作成した。</p> <p>④新春かるた&餅つき大会 1月8日(日)48名の子供さんが参加し、犬棒かるたを使ってかるた大会を実施した。餅つき大会は大人を含めて120名の参加応募がありましたが、悪天候のため規模縮小となりました。</p> <p>総事業費：272,522円(内補助金：175,000円)</p>
<p>事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 豊橋市の将来を担うむつみね台の子供達が、この地域固有の文化や昔からの伝統行事や遊びを学び・体験する事を通じて、豊橋市に残る自然の大切さや物作りの楽しさを実感して貰う事ができた。 また、イベントに参加した子供たちは親御さんに頼らずに自分たちの力で担当の役割や作品を最後までやり遂げた事により、責任感と達成感を体験する事ができた。 イベントの準備にあたっては役員を始め住民の多くの方に御協力を頂き、町内住民のコミュニケーション造成に大いに役立った。
<p>今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今期の活動は、悪天候により残念ながら中止となってしまった物もありましたが、参加応募人数は100名を超えるイベントが多く、住民の方たちの注目度が非常に高い事が分かりました。 今期の活動をベースにして予算やスケジュールを組み、反省点も加えながら引き続き取り組んでいきたいと思ひます。 今後も更なるレベルアップを進めて行くためには、現在の自治会のみでは運営に限界があるため新たな組織作りが今後の課題となりますが、住民の皆さんの協力を頂きながら更にコミュニケーションを活性化させ、子供の健全育成活動だけでなく、防犯や防災活動にも生かして行きたいと思ひます。

トヨッキー基金



©豊橋市トヨッキー



◇みなさまからの寄附と同額を市からも積み立てるので、
寄附の効果は2倍になります！

市民協働推進補助金は、
トヨッキー基金（市民協働推進基金）から
交付されています。



豊橋市 市民協創部 市民協働推進課

〒440-8501

豊橋市今橋町1番地(西館4階)

TEL：0532-51-2483

FAX：0532-56-5128

MAIL：shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp